



日本共産党市会議員

館田るみ子活動だより

第41号

二〇一一年一月
日本共産党青森地区委員会
青森市中央三丁目二一―十五
七七七 七二四一
市役所内 七二二 八九〇四

国民健康保険は命と健康を守る制度 国保税の引き下げと資格証の発行やめよと求める。



三選後の議会で質問する館田市議

館田るみ子市議は再選された十二月議会で、国保税の引き下げや資格証の発行の問題、ワケチン接種、消防団員の報酬費の見直し、地デジチューナーの無償給付などについて質問しました。

一世帯1万円の引き下げを

青森市の国保加入者の88%は所得200万円未満の世帯です。現在、国保税を滞納している世帯が13599世帯、27%になっています。日本共産党がおこなった市民アンケートには、83%の人が国保税を引き下げしてほしいと答えています。

「答弁に立った武井健康福祉部長は「一般会計からの繰り入れは、他の保険に加入している方との公平を欠くこととなり、理解が得られない」と答弁し、市民の切実な願いに背を向けました。

資格証の8割は200万円未満

保険証を取り上げられたために、病院にかかれず、手遅れで死亡する人が後をたたないために、国は特別の事情もないのに国保税を払わないでいるということを確認した人のみに資格証明書の発行を認めています。青森市では、356世帯に資格証明書を発行しています。館田市議は「特別の事情がないと判

断した理由と件数を明らかにするよう」に求めたところ、「催告などしても納付相談に応じない人に接触の機会の確保のために発行している」のが225件もありました。館田市議は、滞納している人との接触の機会を得るためにとの理由で資格証明書を発行しているのは逸脱している行為。所得200万円未満では、保険料を払えば生活できなくなるという特別の事情にあると指摘し、資格証明書の発行はやめるよう求めました。

生活保護世帯の進学支援を

生活保護世帯で育った子が大人になって、再び保護を受ける率は25%。低所得や家庭環境が原因で、教育の機会を失

の制度があることを市民に広く知らせるよう求めました。
* 病院の支払いに困った時はご相談下さい。

武井健康福祉部長は「通院加療が必要な方には、通常の被保険証への切り替えをしたり、医療機関からの連絡で3割で受診出来ることにしている」と答えてください。

患者負担の減額・免除・徴収猶予
日本共産党の小池晃前参議院議員が「国保の患者負担を減額・免除する

三内で

生活環境整備進む

地下水がしみだし、冬は路面凍結する沢部の道路。地下水を集めて側溝を整備。



笹沼そばの水路改修が始まる。



葦が生え水路の形態してなかった。



子宮頸がん予防ワクチンなど3種 青森市でも無料接種を

球菌にはワクチンがあり、ワクチンを定期接種化した国では「細菌性髄膜炎は過去の病気」となっています。

子宮頸がんもワクチン接種で感染を予防し、定期健診で早期発見できれば一〇〇%予防出来るがんだと言われています。

しかし、接種費用が高額なために、青森市にも公費助成を求める陳情が出されています。

世界では当たり前となっているワクチン接種が、わが国では二〇年遅れで、ようやく国による公費助成が始まることになりました。

仙台市をはじめ、各自治体も十二月の補正予算にワクチン接種を無料にする費用を盛り込んでいます。

高齢者の肺炎球菌ワクチン

高齢者の死亡原因の第4位にあげられる肺炎もワクチン接種で、重症化を防ぐことができると言われていています。免疫力が低下している高齢者が肺炎にかかる、入院が長期化しがちです。

館田市議は「国の交付金を活用した子宮頸がんワクチンとヒブワクチン、

小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種をおこなうべき」と求めました。また、「高齢者の肺炎を予防するワクチン接種に公費助成」を求めました。

議員報酬の引き下げ

共産党提出 賛成18反対22で否決される

十二月議会で、日本共産党青森市議団は、議員報酬費の5%を削減する提案をしました。賛成18、反対22で否決されました。

反対したのは自民、公明、市政会・無所属クラブの3党派ですが、質疑も討論もおこなわず、反対の理由も明らかにしないまま否決しました。

失業、倒産が続く、厳しい経済状況が市民のくらしを圧迫し、収入減と税金の負担増に

非課税世帯にも地デジチューナー 無料給付 決まる

政府は、来年七月二十四日をもって、今のアナログ放送を停止し、デジタル放送へ完全移行するとしています。しかし、国民の側の準備は進んでおらず、このままではテレビ難民が生まれる恐れが指摘されています。



旧油川分署後ろに置かれていた廃消防車両

廃消防車両 撤去させる

旧油川分署の裏に廃車となった消防車両が8台も置かれていて、「子どもたちが車の中に入って遊んでいるので、危険だから

石上踏切の道路も拡幅を

石上踏み切りは、新幹線開業に伴い、車道2車線と片側に歩道が設置され、踏み切りに接続する道路が一部拡幅されました。石上踏切がある道路は、新城小学校、西高の通学路にもなっています。石江土地区画整理事業内の道路が整備されたことにもない、車の通行量が増えてきています。



拡幅された石上踏切を通る西高生

安全対策を

撤去してほしい」との聲が寄せられていました。館田市議は、消防議会でも撤去を求めて質問をしてきましたが「廃棄処分の手続きをとる」と答弁があったのに、いつこに撤去されないのか、十二月議会の一般質問で再度質問をしました。木原消防長より「旧油川分署敷地内の8台を十二月六日に、原別分署、沖館分署のそれぞれ2台を七日に撤去した」と答弁がありました。

新青森駅南口通り線の館田市議は、新青森駅南口から新幹線高架橋に沿って作られた南口通り線が開通し、三内沢部の住宅地の生活道路との交差点で衝突事故が発生した問題を取り上げ「見通しも悪く、街灯も設置されていない。早期の街灯設置と信号機の設置を」と安全対策を取るよう求めました。